

てくのクテ

【日本通信SIM】で携帯電話料金を見直した結果

■携帯電話料金の見直しで、経費削減が可能です。

携帯電話の契約会社を見直すだけで、数万円単位の経費削減につながる可能性があります。実際にテクノ産業内で携帯電話料金を見直した結果、1台あたり月額約2,000円以上の削減を実現しました。

乗り換え先は「日本通信SIM」という会社です。

日本通信SIMは、いわゆるMVNO（仮想移動体通信事業者）に分類される格安SIMを提供している会社です。裏面で移行前に利用していたSoftBankで実際にかかっていた費用と比較した資料をご覧ください。具体的な削減効果をご理解いただけるかと思い、今回ご案内させていただきました。

■日本通信SIMの料金体系（法人）

The スタンダード

データ通信専用

小容量
(1GB)

合理的
ツブサム250 プラザ
REASONABLE PLAN

月額基本料
290円

月額に含まれるデータ量
ひと月 **1GB**

追加データ料 1GB 220円

通話料 11円 30秒

通話5分かけ放題オプション 390円/月

70分無料通話オプション 390円/月

通話かけ放題オプション 1,600円/月

平均量
(20GB)

合理的
ツブサム250 プラザ
REASONABLE PLAN

月額基本料
1,390円

月額に含まれるデータ量
20GB

月額に含まれる国内無料通話量
または
5分かけ放題 (70分/月)

追加データ料 1GB 220円

通話料 11円 30秒

通話かけ放題オプション 1,600円/月

やや多い
(50GB)

合理的
ツブサム250 プラザ
REASONABLE PLAN

月額基本料
2,178円

月額に含まれるデータ量
50GB

月額に含まれる国内無料通話量
または
5分かけ放題 (70分/月)

追加データ料 1GB 220円

通話料 11円 30秒

通話かけ放題オプション 1,200円/月

多い
(63GB～)

これ以上の
容量は
携帯キャリアの
プランを
お使いください。

タブレット等の
端末専用

190
PAD
SIM X

月額基本料
209円

月額に含まれるデータ量
1GB

通話及びSMS機能なし
1GBごとに209円追加
最大30GB



ドコモ回線を使用しています。

価格：税込、画像：日本通信SIMより引用

【てくのクテ】では、ジャンルを問わず、テクノ産業が届けたい情報を皆さまへ発信してまいります。ご不明点やご質問がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

2025年8月テクノ産業の休日カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

5月くらいから暑い日が続いているので、エアコン必須になっているので、お！
試しに6月にエアコンを24時間つけたままにしたところ、電気料金が5月22,000円、6月21,000円と1,000円下がったので、お！
なので7月も24時間つけたまままでどのくらいかかるのが試しているてくの！
電力単位ってkVA、kW、kWhとかいろいろあって見方が難しいてくの！こういう時はYouTubeを見て勉強するてくの！
というわけで、会社の経費削減には限界はあるけど、必要なところにはしっかり費用をかけていきたいと考えているてくくてくの！

-お問合せ先-

TEL 0287-62-6010 FAX 0287-62-8998

E-mail: techno@tecowl.co.jp

- 那須高原のI T工房 -

株式会社 **テクノ産業**

〒325-0073 栃木県那須塩原市阿波町110-36

URL: <https://www.tecowl.co.jp/>

◆◆◆住所が変わりました◆◆◆



■携帯電話料金比較 SoftBank vs 日本通信SIM

今回は携帯電話の使用頻度に応じて料金を見直した結果をご報告します。日本通信SIMは、70分の無料通話が付いている点が非常に魅力的で、お得に感じられます。インターネットは利用するものの、携帯電話での通話をあまり使わない方には特に効果的です。こうした使い方を踏まえて、最適なプランを選び料金を見直しました。

プラン 上段：Softbank 下段：日本通信SIM	契約数	SoftBank SoftBankでテクノ産業が実際に契約していた料金体系です。	日本通信SIM 携帯料金を見直した結果の料金体系です。
基本50GB／(通話し放題) ↓ 基本50GB／(通話し放題)	2端末	6,028×2 = 10,960 (1,980)	3,378×2 = 6,756 (1,320)
基本50GB／(通話し放題) ↓ 基本20GB／(無料通話70分)	1端末	6,028 (1,980)	1,390 (－)
基本5GB／(通話し放題) ↓ 基本20GB／(通話し放題)	1端末	4,928 (1,980)	2,990 (1,600)
基本5GB／(通話し放題) ↓ 基本20GB／(無料通話70分)	2端末	4,928×2 = 9,856 (1,980)	1,390×2 = 2,780 (－)
基本5GB／(通話し放題) ↓ 基本1GB／(通話し放題)	1端末	4,928 (1,980)	1,890 (1,600)
 合 計 	7端末	37,796	⇒ 15,806

なんと、**21,990円**ものコスト削減ができました。ただし、これは数ヶ月にわたって使用頻度の傾向を確認しながら、慎重にプランを見直した結果です。(価格：税込)

■日本通信SIMにした場合のメリットデメリット

メリット	○料金が非常に安い	月額290円（税込319円）から利用可能。特に「合理的290プラン」は格安SIM最安水準。
	○通話オプションが柔軟	5分かかけ放題（390円）、70分通話定額（390円）、通話し放題（1,600円）など選べる。（プランによって価格が変動します）
	○ドコモ回線を使用	通信品質は安定しており、全国的にエリアが広い。
	○契約縛りなし・解約金なし	最低利用期間なし、いつでも自由に解約可能。
デメリット	▷混雑時の通信速度が遅いことがある	格安SIM全体に言えることですが、 昼休みや夕方の時間帯には通信速度が低下することがあります。 これが最大のデメリットとも言えるでしょう。
	▷店舗がない（オンライン専用）	実店舗でのサポートがなく、すべてWeb上で手続きする必要があります。一部、電話対応でのサポートも行っているようです。
	▷キャリアメール非対応	docomo.ne.jpなどのメールアドレスは使えません（Gmail等で代用）。
	▷端末セット販売がない	スマホ本体は別途自分で用意する必要がありますが、Appleのオンラインショップで購入したほうがお得です。

結論：日本通信SIMは時間帯によってはネットの通信速度が低下することがありますが、通話は安定して利用できるため、業務用途でも問題ありません。